

最適な画質に補正する

【インテリジェントシステム】

⏮️⏭️で設定を選んで(決定)を押します。

しない	インテリジェントシステム機能を使いません。
する	インテリジェントシステム機能を使います。

コントラストや明るさを詳細に調整する

【ピクチャーディテール】

以下の項目を選んで(決定)を押してください。⏮️⏭️で設定を選んで(決定)を押します。

DRE ピクチャー	映像のコントラストを強調して、明暗の差がはっきりした映像にします。
黒伸張	映像の暗い部分を強調して、明暗の差がはっきりした映像にします。
ACL	映像に適したコントラスト特性に補正します。 オートマチック コントラスト リミッター ・ACL は、Automatic Contrast Limiter の略です。
エンハンサーモード	映像の高周波部分（細かい部分）の処理のしかたを選択します。
ガンマ	映像の明暗バランスを調整します。

詳細な色調整をする

【カラーディテール】

以下の項目を選んで(決定)を押してください。⏮️⏭️で設定を選んで(決定)を押すか、⏮️⏭️で調整します。

色温度	白色をお好みの色調に調整します。色温度が高いほど青味が強く、低いほど赤みが強い白になります。 ・「手動」では、お好みに応じてさらに詳細な色温度の調整ができます。	
CTI	色の境目（輪郭）を鮮明にします。 カラー トランジェント インブルーメント ・CTI は、Color Transient Improvement の略です。	
カラーマネージメント	色相を系列ごとにより細かく調整します。	
	項目	⏮️ ⏭️
	R (赤)	マゼンタに近づく 黄に近づく
	Y (黄)	赤に近づく 緑に近づく
	G (緑)	黄に近づく シアンに近づく
	C (シアン)	緑に近づく 青に近づく
	B (青)	シアンに近づく マゼンタに近づく
	M (マゼンタ)	青に近づく 赤に近づく
色域	色の再現範囲を変更します。	
	1	プラズマテレビに最適な、より鮮やかな色を再現します。
	2	標準的な色再現にします。

色温度を手動調整したいときは

【手動】

「色温度」で「手動」を選んで、(決定)を3秒以上押してください。色温度の手動設定画面が表示されます。RGB（赤・緑・青）のそれぞれの色成分で微調整ができます。

R ドライブ	明るい部分の微調整をします。	赤の強さを調整します。
G ドライブ	⏮️ : +側 ⏭️ : -側	緑の強さを調整します。
B ドライブ	⏮️ : +側 ⏭️ : -側	青の強さを調整します。
R カットオフ	暗い部分の微調整をします。	赤の強さを調整します。
G カットオフ	⏮️ : +側 ⏭️ : -側	緑の強さを調整します。
B カットオフ	⏮️ : +側 ⏭️ : -側	青の強さを調整します。

映像のざらつきを軽減する

【ノイズリダクション】

以下の項目を選んで(決定)を押してください。⏮️⏭️で設定を選んで(決定)を押します。

3DNR	ノイズ発生箇所だけに絞りを絞って、映像のざらつきを抑えて、すっきりさせます。 スリー ディメンション ノイズ リダクション ・3DNR は、3 Dimension Noise Reduction の略です。
フィールドNR	映像のちらつきを取り除いて、より自然な映像にします。
ブロックNR	ハイビジョン映像などのノイズ感を軽減します。
モスキートNR	デジタル放送やDVD などの MPEG 映像のざらつき（モスキートノイズ）を取り除きます。

映像に適した画像補正にする

【動き補正】

以下の項目を選んで(決定)を押してください。⏮️⏭️で設定を選んで(決定)を押します。

3DYC 分離	映像に適した Y/C 分離特性にします。
IP 変換	映像に適したプログレッシブ変換を行います。
	1 動画向けの設定です。
	2 標準の設定です。
	3 静止画向けの設定です。

お知らせ

- ・「3DYC 分離」は、コンポジット映像信号入力時のみ設定できます。
- ・プログレッシブ信号（525p、750p や 1125p）入力時、「IP 変換」は設定できません。